

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく
菊川流域、天竜川下流域の取組状況
【説明資料】(案)

平成29年6月13日

菊川水防災協議会、天竜川下流水防災協議会

〔 菊川市、掛川市、浜松市、磐田市、静岡県、静岡地方气象台、
国土交通省 浜松河川国道事務所 〕

取組状況フォローアップ

1. 住民に**防災を意識してもらうための取り組み**

■ **自主防災体制の強化**

- ・自主防災会が**継続的かつ適切に運営されるための情報提供や体制・活動の支援**
- ・洪水に対して**リスクが高い区間などに関する情報提供と説明会の開催**

■ **水災害教育の充実**

- ・小中学校などと連携した**洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充**
- ・関係機関と**協力・連携した普及啓発活動の実施**(出前講座、ワークショップ等)
- ・効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ情報や、浸水リスクを周知するための**啓発資料の作成**
- ・地域における災害時の応急活動・マネジメントや平時の防災訓練の場でのリーダーとなる**防災リーダー・講師の育成**

住民に防災を意識してもらおうための取り組み

自主防災体制の強化

実施機関: 菊川市、掛川市、浜松市、磐田市、浜松河川国道事務所

- 自主防災会が継続的かつ適切に運営されるための情報提供や体制・活動の支援
- 重要水防箇所など水害リスクが高い区間などに関する情報提供と説明会の開催

重要水防箇所等の地域説明会を実施

浜松河川国道事務所による取組事例

- 関東・東北豪雨を踏まえ、「水防災意識社会 再構築ビジョン」として、住民の避難行動に繋がる情報の周知方法や、地区内の重要水防箇所、河川整備のハード対策について、流域の各地区の方々に向けた説明会を実施しました。



住民に防災を意識してもらうための取り組み

自主防災体制の強化

実施機関: 菊川市、掛川市、浜松市、磐田市、浜松河川国道事務所

- 自主防災会が継続的かつ適切に運営されるための情報提供や体制・活動の支援
- 重要水防箇所など水害リスクが高い区間などに関する情報提供と説明会の開催

重要水防箇所等の合同巡視を実施

浜松河川国道事務所による取組事例

- 国土交通省では毎年、出水期前に地元市町村、水防団等と合同巡視を行い、重要水防箇所の周知を図っています。

掛川市合同巡視(水防団)



菊川市合同巡視(水防団)



菊川市合同巡視(一般住民)



住民に防災を意識してもらおうための取り組み

水災害教育の充実

実施機関：菊川市、掛川市、浜松市、磐田市
静岡県、気象台、浜松河川国道事務所

○効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ情報や、水害リスクを周知するための啓発資料の作成

菊川市、掛川市、浜松市、磐田市、
気象台による取組事例

啓発資料の作成

防災ガイドブック

平成29年3月作成。
4月に全戸配布。



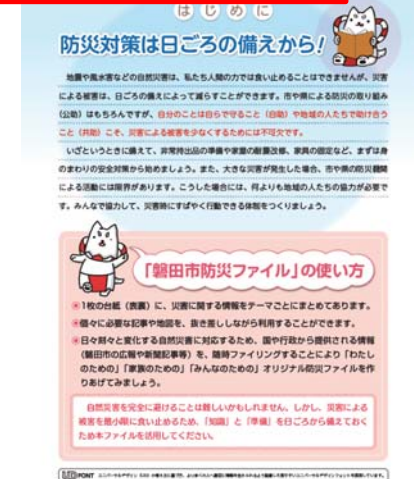
出典：掛川市

区域避難行動計画



出典：浜松市

磐田市防災ファイル



出典：磐田市

防災授業資料の提供



出典：静岡地方気象台



出典：菊川市

住民に防災を意識してもらうための取り組み

水災害教育の充実

実施機関：菊川市、掛川市、浜松市、磐田市
気象台、浜松河川国道事務所

○関係機関と協力・連携した普及啓発活動の実施(出前講座、ワークショップ等)

浜松市による取組事例

平成29年2月25日 総合防災講座を実施(浜松市)

- 防災に興味を持つ市民に対し、地域の防災リーダーとなっていたため、総合防災講座を開催。(受講者68人)

タイムスケジュール

開始時刻	内容	説明者	備考
8:45	受付開始		
9:00	開講式 オリエンテーション		
9:10	浜松市の防災対策について	危機管理課	静岡県第4次地震被害想定を踏まえ、浜松市の防災対策について説明します
9:35	気象について	危機管理課	気象情報の利用について説明をします
10:15	休憩		
10:25	大雨と河川災害	河川課	
11:15	男女がともに支えあう地域防災	特定非営利活動法人 浜松男女共同参画推進協会	女性の視点を取り入れた防災対策について説明します
12:00	昼休み		当日は売店が休みのため弁当等ご持参ください。お会場で飲食可能です
13:00	熊本地震における被災住宅の判定活動と浜松市の耐震補強助成制度	建築行政課	
13:40	家庭内D1G	危機管理課	自宅の平面図を書きながら、地震がきても自宅で暮らす方法を考えます
14:40	休憩		
14:45	災害ボランティアについて	社会福祉法人 浜松市社会福祉協議会	ボランティアコーディネーターについて学びます
15:30	振り返り、今後について		
15:45	修了証交付・閉講式		
16:00	全講座終了		

☆災害に備えるために☆
総合防災講座へ行こう!!

●本講座修了者には、修了証及び防災グッズを配布します
●1日で行うため、参加しやすい講座です

例えば、こんな方にお勧めです
・平日は仕事で防災について勉強できる機会が少なかった
・防災について関心はあるが、得から始めればいいかわからない

場 所：浜松市役所北館1階101会議室
※駐車場はありますが、有料となります。

内 容：裏面のとおり

日 程：平成29年2月25日(土)

受講人数：80人(定員を超え場合は初回受講者優先となります)
【受付期間：1月16日(月)～2月10日(金)】
※受講の可否については、受付締切以降順次郵送にて通知します

対 象：市内在住または在勤、在学の方(中学生以上)

受 講 料：無料

申込方法：下記申込書に必要事項をご記入の上ご提出ください
(持参、郵送、FAX、Eメールのいずれか)

問 合 先：〒430-8652 浜松市中区元城町103-2
浜松市役所 危機管理課
TEL053-457-2537 FAX053-457-2530
E-mail bosei@city.hamamatsu.lg.jp

《申 込 書》

(ふりがな) 氏名	住所	〒	
電話番号	FAX番号		

広報チラシ



講座の様子

出典：浜松市

住民に防災を意識してもらうための取り組み

水災害教育の充実

実施機関: 菊川市、掛川市、浜松市、磐田市
静岡県、気象台、浜松河川国道事務所

○地域における災害時の応急活動・マネジメントや平時の防災訓練の場でのリーダーとなる防災リーダー・講師の育成

掛川市による取組事例

防災研修会、防災リーダー養成講座（掛川市）

- 毎年、防災研修会防災リーダー養成講座を開催。広報誌等で周知している。



掛川市防災研修会
日時 平成28年11月17日(木)
13:30～16:00 (開講13:00)
会場 掛川市生涯学習センター(ホール)
掛川市駅前17番1号

演題 「地域を知り、防災を考える」
—最近の豪雨災害事例から学ぶこと—

静岡大学 防災総合センター 教授 うしやま もとゆき
牛山素行 氏
防災総合センター 教授 牛山素行 氏
防災総合センター 教授 牛山素行 氏
防災総合センター 教授 牛山素行 氏

報告 「熊本地震による家屋被害と避難所運営について」
掛川市役所 危機管理課・都市政策課

共催 掛川市区長会連合会 掛川市
お問い合わせ先 436-8650 掛川市長谷一丁目1番地の1
掛川市役所危機管理課 TEL 0537-21-1131

広報チラシ

掛川市による取組事例

次世代リーダー養成講座（掛川市）

- 平成28年度より、小中学生を対象とした次世代を担う防災リーダー研修を実施。

■平成28年度 2月4日、2月5日
■平成29年度 7月末(予定)



出典:掛川市

出典:掛川市

住民に防災を意識してもらうための取り組み

水災害教育の充実

実施機関: 菊川市、掛川市、浜松市、磐田市
静岡県、気象台、浜松河川国道事務所

○地域における災害時の応急活動・マネジメントや平時の防災訓練の場でのリーダーとなる防災リーダー・講師の育成

さわやかウォーキング 天竜川治水事業90周年記念ウォーク

浜松河川国道事務所による取組事例

- 天竜川左岸静岡県磐田市池田の渡し公園付近において、JR東海が主催するさわやかウォーキングとコラボして、「減災のための備え」や「治水」に関するパネル展示、排水ポンプ車・照明車の展示等を実施。
- さわやかウォーキング参加者へパネルにより90年にわたる治水事業や防災に関する情報発信の状況を説明することで、ハード対策・ソフト対策の重要性の理解を深めてもらった

浜松河川国道事務所（5月1日記者発表）

- 日時: 平成29年4月30日8:30～13:00
- 場所: 天竜川左岸10.2kp付近 静岡県磐田市池田
- 参加: さわやかウォーキング参加者約1,900名
- 内容: 治水事業に係るパネル展示、排水ポンプ車・照明車の展示
河川改修に係る冊子・災害対策車のペーパークラフト配布

展示の概要

- 天竜川は、昭和20年10月洪水以降約70年間にわたり決壊による氾濫が発生しておらず住民の洪水に対する意識が希薄となっていることから、過去の水害の状況や河川改修の経緯を紹介することにより、水害の恐ろしさと治水事業の重要性を伝え防災意識の向上を図る
- 排水ポンプ車のポンプを設置したり、照明車のブームを伸ばし遠くから目立つようにし集客を図るとともに、活動の様子がリアルに伝わるようにした

【取材・報道状況】

5/10(予定) 静岡朝日テレビ「とびっきり!しずおか」

広報の狙い・工夫



パネル説明により
減災のための備えを理解してもらう

住民に防災を意識してもらうための取り組み

水災害教育の充実

実施機関: 菊川市、掛川市、浜松市、磐田市
静岡県、気象台、浜松河川国道事務所

○地域における災害時の応急活動・マネジメントや平時の防災訓練の場でのリーダーとなる防災リーダー・講師の育成

下小笠川捷水路改修10周年記念イベント～菊川から学ぶ集い～

浜松河川国道事務所による取組事例

- 8月27日(土)、菊川市中央公民館に於いて「菊川から学ぶ集い」を開催しました。このイベントは、菊川水系での度重なる洪水被害から地域住民の皆様の命と財産を守るため、菊川水系下小笠川に捷水路を設置し、その改修工事から10年が経過したことを記念して企画されたものです。
当日は常葉大学社会環境学部の山田辰美教授による講演が行われ約150名の聴講者が熱心に聞き入っていました。また、菊川の歴史や下小笠川捷水路が学べるパネル展示、お子様に大好評だった「豪雨体験」や「排水ポンプ車、照明車の展示」が行われました。



10周年記念イベント チラシ



山田教授



パネル展示



降雨体験



災害対策車両展示

2. 住民に避難行動してもらうための取り組み

■ 住民自らの避難行動に資するハザードマップの改良

- ・想定最大規模の外力を対象とした洪水浸水想定区域図の策定・公表
- ・想定最大規模の外力を対象とした氾濫シミュレーションの作成・公表
- ・想定最大規模の外力を対象とした洪水浸水想定区域図を基にした洪水ハザードマップの作成・周知の実施
- ・まるごとまちごとハザードマップの整備

■ 円滑で確実な避難に資する情報発信

- ・水害時の情報入手のしやすさ・分かりやすさを支援するための広報活動の実施
- ・住民の避難行動を促すためのスマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供やプッシュ型情報の発信・普及活動の実施

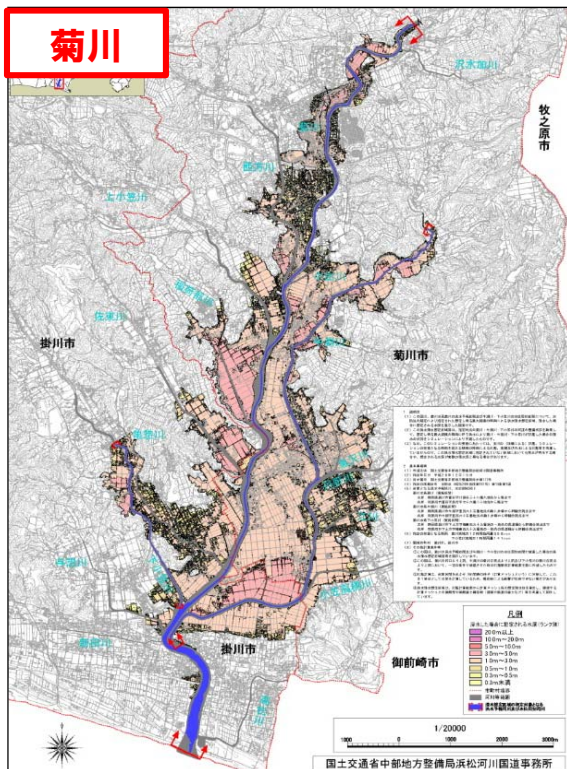
住民に避難行動してもらおうための取り組み

住民自らの避難行動に資するハザードマップの改良

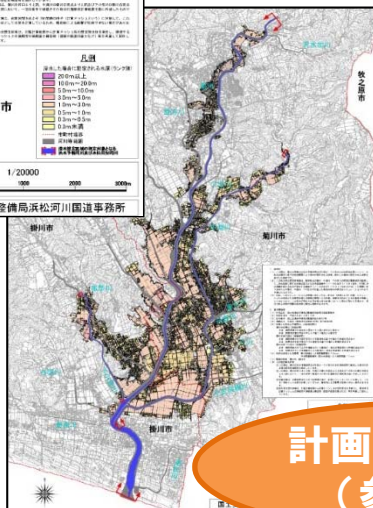
実施機関：菊川市、掛川市、浜松市、磐田市
浜松河川国道事務所

浜松河川国道事務所による取組事例

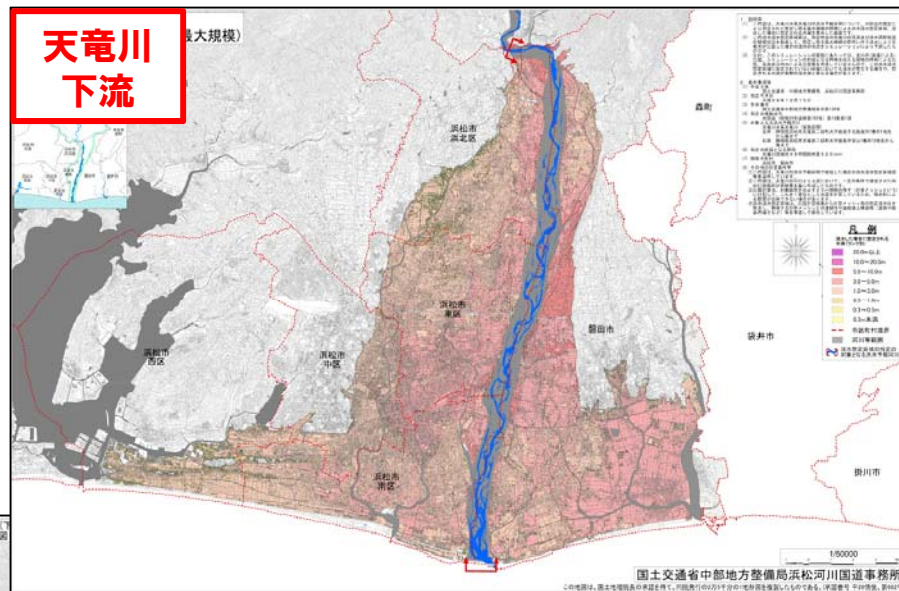
○想定最大規模の外力を対象とした洪水浸水想定区域図の策定・公表



想定最大規模洪水



計画規模洪水 (参考)



住民に避難行動してもらうための取り組み

円滑で確実な避難に資する情報発信

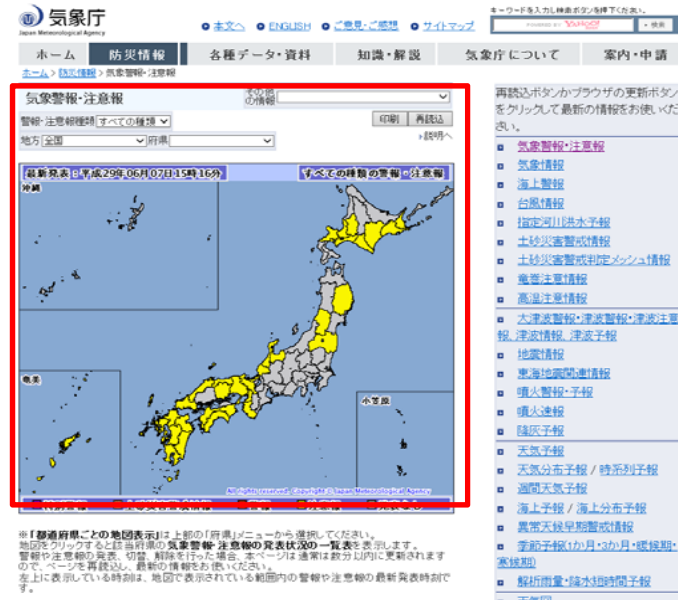
実施機関: 菊川市、掛川市、浜松市、磐田市
静岡県、気象台、浜松河川国道事務所

- 水害時の情報入手のしやすさ・分かりやすさを支援するための広報活動の実施
- 住民の避難行動を促すためのスマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供やプッシュ型情報の発信・普及活動の実施

気象台による取組事例

分かりやすい情報提供

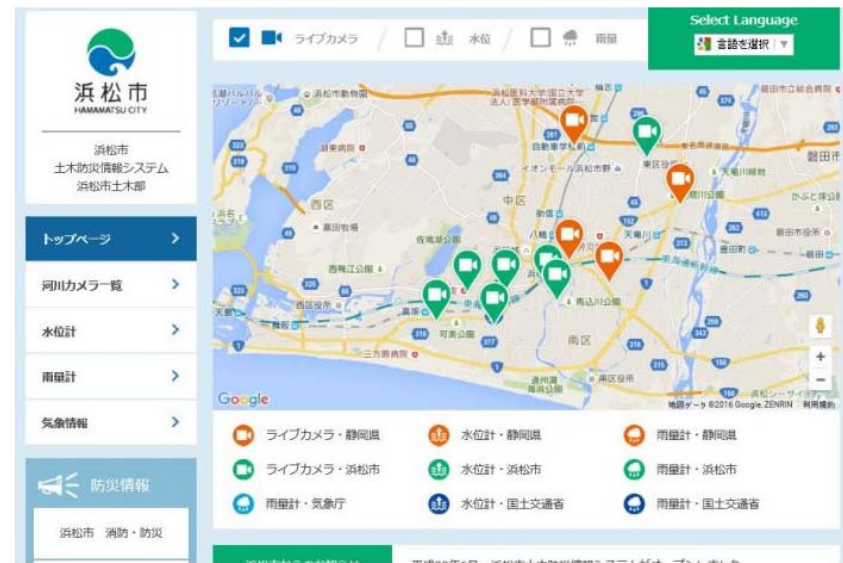
平成29年5月17日より気象庁ホームページ等において、わかりやすい情報提供(警報等における危険度の色分け表示)、「警報級の現象になる可能性」の情報提供を開始しました。



浜松市による取組事例

リアルタイム情報の提供

台風などの大雨時に河川水位、雨量計の情報や、河川ライブカメラ映像等を見ることができる『浜松市土木防災情報システム』の運用を開始しました。



2. 住民に避難行動してもらうための取り組み

■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定

- ・洪水を対象とした避難勧告の発令等に着目した**タイムライン**(時系列の防災行動計画)の見直し
- ・職員の誰もが水害対応できる**チェックリスト**の作成
- ・**想定最大規模の外力**を対象とした洪水浸水想定区域図に伴う、**洪水避難場所の検討・整備**の促進
- ・**情報伝達手段の多元化**、通信機器の更新
- ・**確実かつ迅速な情報の提供**と地域住民に避難の**切迫性が確実に伝わる情報**を提供
- ・きめ細やかな情報連絡・情報共有を密にするための**情報連絡室**(関係機関との**情報ネットワーク**)の改善
- ・避難を行う**住民代表との避難に関する意見交換会**の実施

3. 洪水氾濫による被害の軽減のための 水防活動・排水活動の取り組み

■ 住民自らの水防活動の促進

- ・住民自らの**浸水防止活動の促進のための土のうステーション**(備蓄砂置き場等)の設置

■ 水防活動の効率化・水防体制の強化

- ・確実な水防活動のため、水防団等への連絡体制の確認と伝達訓練の実施
- ・関係機関が連携した**実働水防訓練の継続実施**
- ・**水防団や地域住民が参加**する、洪水に対するリスクの高い箇所の**共同点検**の実施
- ・**水防団員に対しての教育・訓練**(水防工法の伝承、安全教育など)の実施
- ・水防団員確保に向けて、自治会への説明会や水防団の重要性をPRする資料を作成するなど**普及啓発活動の実施**

洪水氾濫による被害の軽減のための水防活動・排水活動の取り組み

水防活動の効率化・水防体制の強化

実施機関: 菊川市、掛川市、浜松市、磐田市
静岡県、浜松河川国道事務所

- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施
- 水防団員に対する教育・訓練(水防工法の伝承、安全教育など)の実施

掛川市による取組事例

掛川市水防演習

- 日時: 平成29年5月28日
- 会場: 第一部 大東支所駐車場
第二部 菊川河川敷右岸堤防下
- 訓練内容
各種水防工法演習の実施
へりによる水難救助訓練の実施

出典: 掛川市



演習の様子



浜松市による取組事例

浜松市水防演習

- 日時: 平成29年6月4日 8:30~11:30
- 会場: 天竜川河川敷(豊西緑地サッカー場北)
- 訓練内容
全17分団による各種水防工法の展示、実施。



演習の様子



出典: 浜松市

各種水防工法一覧

実施水防工法等	実施分団
堤防巡視	中瀬南分団
土のう造り工	全分団
石み造り工	上島分団
月の輪工	中瀬南分団・笠井分団
釜築工	浜北西分団・伊佐見分団
杭打積土俵工	入野分団
笈牛工	白鷺分団
積土のう工	竜池南分団・都田分団
せき板工	飯田分団
土留鋼板工	上島分団
繋ぎ縫い工	河輪分団
改良積土のう工	浜名分団・芳川分団
竹流し工	竜池北分団
木流し工	中ノ町分団
シート張工	中瀬北分団・五島分団

3. 洪水氾濫による被害の軽減のための 水防活動・排水活動の取り組み

■被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

- ・優先的に対策が必要な河道掘削などの洪水を河川内に安全に流すためのハード対策及び天端舗装などの危機管理型ハード対策の実施
- ・円滑な水防活動のため橋脚等への簡易水位計・量水標設置
- ・迅速な水防活動及び緊急復旧活動を行う支援の拠点となる防災ステーションや大規模な防災拠点整備に向けた検討

■迅速に復旧・復興するための取り組み

- ・氾濫水を迅速かつ的確に排水するための排水計画の策定（※別紙資料参照）
- ・排水ポンプ車出動要請の連絡体制を整備し、排水計画に基づく訓練を実施

洪水氾濫による被害の軽減のための水防活動・排水活動の取り組み

被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

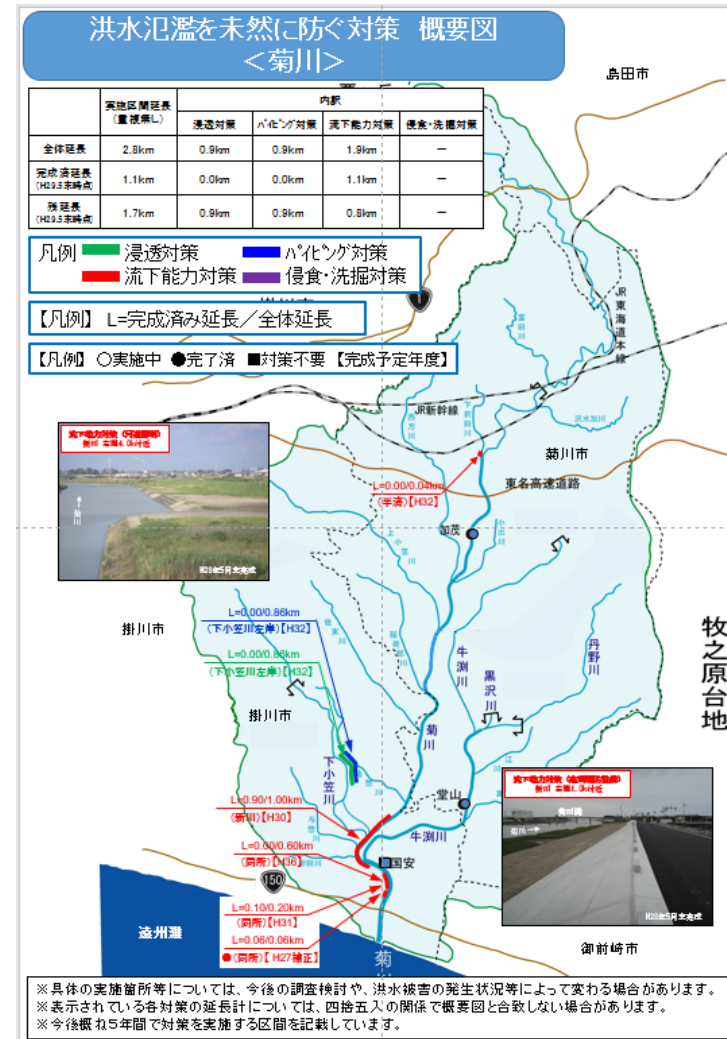
○優先的に対策が必要な河道掘削などの洪水を河川内に安全に流すためのハード対策及び天端舗装などの危機管理型ハード対策の実施

実施機関: 掛川市、静岡県、
浜松河川国道事務所

浜松河川国道事務所による取組事例



菊川



洪水氾濫による被害の軽減のための水防活動・排水活動の取り組み

被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

○優先的に対策が必要な河道掘削などの洪水を河川内に安全に流すためのハード対策及び天端舗装などの危機管理型ハード対策の実施

実施機関: 掛川市、静岡県、
浜松河川国道事務所

浜松河川国道事務所による取組事例

危機管理型ハード対策 概要図 <天竜川下流>

	実施区間延長 (重複を除く)	内訳	
全体延長	3.1km	天端保護	法尻保護
完成済延長 (H29.5末時点)	2.7km	2.7km	-
残延長 (H29.5末時点)	0.4km	0.4km	-

【凡例】 L=完成済み延長/全体延長

【凡例】 ○実施中 ●完了済 ■対策不要 【完成予定年度】

凡例 ■ 天端の保護 ■ 裏法尻の補強



※具体的実施箇所等については、今後の調査検討や、洪水被害の発生状況等によって変わる場合があります。
※危機管理型ハード対策と併せて、住民が自らリスクを察知し、自主的に避難できるようなソフト対策を実施予定です。
※表示されている各対策の延長計については、四捨五入の関係で概要図と合致しない場合があります。
※今後概ね5年間で対策を実施する区間を記載しています。

天竜川 下流

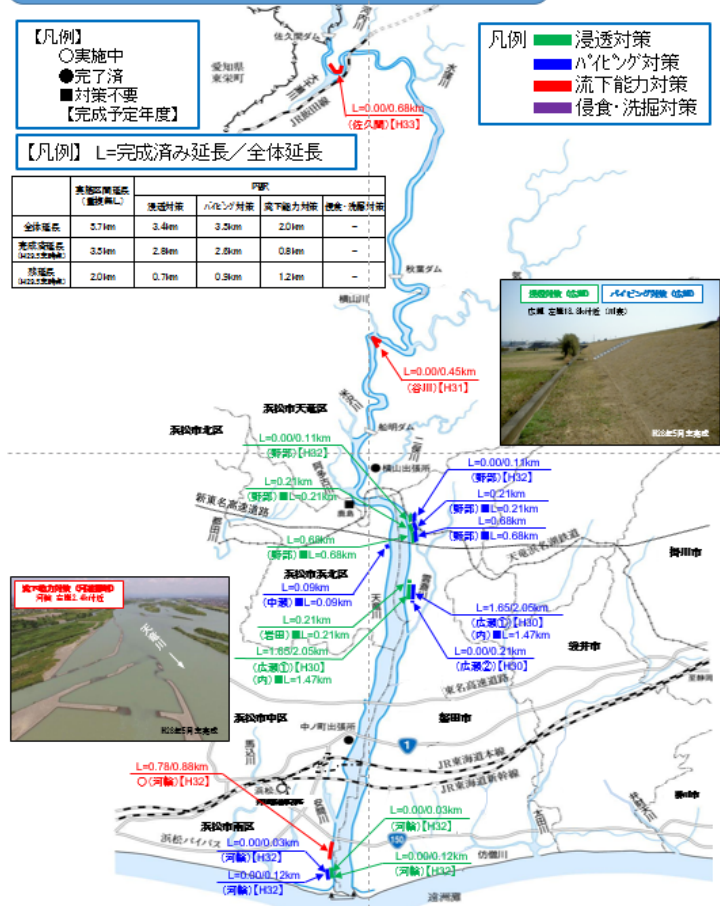
洪水氾濫を未然に防ぐ対策 概要図 <天竜川下流>

【凡例】
○実施中
●完了済
■対策不要
【完成予定年度】

凡例 ■ 浸透対策 ■ ハ化ツグ対策 ■ 流下能力対策 ■ 侵食・洗掘対策

【凡例】 L=完成済み延長/全体延長

	実施区間延長 (重複を除く)	浸透対策	ハ化ツグ対策	流下能力対策	侵食・洗掘対策
全体延長	5.7km	3.4km	3.3km	2.0km	-
完成済延長 (H29.5末時点)	3.5km	2.8km	2.8km	0.8km	-
残延長 (H29.5末時点)	2.0km	0.7km	0.3km	1.2km	-



※具体的実施箇所等については、今後の調査検討や、洪水被害の発生状況等によって変わる場合があります。
※表示されている各対策の延長計については、四捨五入の関係で概要図と合致しない場合があります。
※今後概ね5年間で対策を実施する区間を記載しています。

洪水氾濫による被害の軽減のための水防活動・排水活動の取り組み

迅速に復旧・復興するための取り組み

実施機関: 菊川市、掛川市、浜松市、磐田市
静岡県、浜松河川国道事務所

平成29年5月29日快晴の中、静岡県西部地区災害対策用機械操作訓練を天竜川河川敷にて、災害時に活躍する「排水ポンプ車」や「照明車」の操作訓練を実施しました。
参加者は国交省、静岡県、静岡県西部地域の市及び災害協定業者等約60名で災害対策車の操作技術を習得していただきました。

浜松河川国道事務所による取組事例

排水ポンプ車訓練



災害対策用機械操作訓練を実施しました！

照明車訓練



開会式



NHK静岡放送局によるテレビ取材！
夕方のニュースで放送されました！

